

## 医療事故等のレベル区分及び個別公表の対応

資料 3

	区分	内容	個別公表の対応
ヒヤリ・ハット事例	レベル0	エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった。	—
	レベル1	患者への実害はなかった。 (何らかの影響を与えた可能性は否定できないものも含む)	—
	レベル2	処置や治療は行わなかった・(患者の観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた)	—
	レベル3	a	簡単な処置や治療を要した。 (消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)
b		濃厚な処置や治療・検査を要した。	<p>【公表に同意が得られた場合】 個別公表を実施することで、再発予防に寄与する対策等の推進につながると判断された事案について、患者又は家族と対象項目※について公表の可否、範囲及び表現等について確認し、個人の特定につながる可能性のある内容については十分な協議を行い、公表の範囲を決定する。</p> <p>【公表に同意が得られなかった場合】 公表は実施しない。</p>
アクシデント	レベル4	提供した医療または管理に起因し(含む疑い)、患者の生活に影響する予期しなかった、若しくは予期していたものを上回る高度の後遺症が残る可能性が生じた場合。	<p>【公表に同意が得られた場合】 患者又は家族と対象項目※について公表の可否、範囲及び表現等について確認し、個人の特定につながる可能性のある内容については十分な協議を行い、公表の範囲を決定する。</p> <p>【公表に同意が得られなかった場合】 公表は実施しない。</p>
	レベル5	提供した医療または管理に起因し(含む疑い)、予期せず患者が死亡した場合。	

※ 発生場所(病院名)、発生年月日、発生状況、患者の年代、患者の性別、患者の疾病名、医療事故等のレベル区分、原因、今後の対応、再発防止策